

浪中サッカー部 OB 会 4年ぶりに開催

サッカー部 OB 会 幹事 溝口三朗(10 回生)

コロナ禍で見合わせていたサッカー部 OB 会を 8 月 27 日(日) 4 年ぶりに開催しました。

現役 3 年生、本年卒業の新 OB、10 代から 70 代の各世代の OB のほか、松浪少年 SC 出身者、地元の本拠をおく松浪サッカークラブの一般・オールドのメンバーも参加し、およそ 70 名の方々が暑い中、午前 10 時から午後 3 時まで昼食休憩を除く約 4 時間、6 チームに分かれてゲームに汗を流しました。当部は今年で創部 61 年となりますが、初代 OB の 3 名もご壮健で参加いただき観戦を楽しんでおられました。

最後に、開催にご尽力いただいた顧問の忠隈先生、昼食・冷たい飲み物をご準備いただいた新 OB の父母会の皆様に感謝申し上げます。

「毎年、8 月の最終日曜日に浪中グラウンドに集まって楽しく蹴球しよう！」を合言葉にはじまった OB 会も今年で早 20 年目となりましたが、来年も新たな OB を迎えて元気でグラウンドに集まれることを楽しみにしています。



上の写真
中央2人
初代 OB
深田さん(右)
青木さん(左)
加納さんも参加
されました

同窓会総会開催のお知らせ:規約の一部改正提案 6月の体育祭時に浪中会議室にて
(日時等 詳細は松浪中学校ホームページでご確認ください)

編集後記

コロナの影響等で総会の開催が難しいなか、活動や会計の報告だけでもしようということで発行する運びとなった「同窓会だより」の No.2 をお届けします。

内容の充実を図るため、皆さんからも記事を投稿していただくと助かります。同期会や部活 OB 会など開催の折には、是非お願いします。写真の画像ファイルを添えて投稿くださると幸いです。また、お気に入りの文化芸術作品なども大歓迎です。

送り先は imizo@ksf.biglobe.ne.jp 編集担当 溝口一朗 までお願いします。

浪中同窓会だより

No. 2 2024年3月

松浪中学校同窓会

連絡先

酒井道生 090-8568-0804

e5r3i5@bma.biglobe.ne.jp

今井眞知子 090-3963-8131

同期会開催報告

二回生 小沢一二三先生参加のもと 6回目の同期会開く 高橋信義

平成 19 年に我が二回生の同期会を茅ヶ崎で開催してから、令和 5 年の今回で 6 回目の運びとなりました。団塊の世代の私達は、74~75 歳の年齢に達しました。

当日は、38 名と体育担任の小沢一二三先生が参加、小沢先生は当時と変わらない風貌があり、懐かしさを感じました。

同期のメンバーによるバイオリンとフルートの演奏で、和やかな会を持つ事が出来ました。

次は 3 年後の喜寿(77 歳)に 7 回目の同期会を待ちます。元気でまた会いましょう。



五回生 25名の参加で14回目!の同期会開く 酒井道生

14 回目の同期会は 25 名の参加で「モチキチフーズガーデン」で開催されました。

第 1 回は平成 8 年 5 月(1996.5)に藤沢グランドホテルで 100 余名の参加で開催されました。コロナで延期されていましたが今回開催することができました。コロナ期間中に 3 名が亡くなっていました。何名かが体調不良で欠席しています。

次回も元気で集まれるよう祈っています。幹事さん有難うございました。



同窓会をよろしく願います

同窓会会長 美原正信

第62回卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。皆さんは新型コロナ渦の中で3年間を過ごされました。楽しかったであろう多くの行事の中止、マスクや黙食、ソーシャルディスタンスをとる等、窮屈な学生生活だった事と思います。本来なら大いに話し合い、笑い、汗してスポーツ等して過ごす3年間だったはずですが、先輩達のどの世代もそうして過ごした義務教育の最後の3年間だった事を思うと私は残念でなりません。



これから皆さんは新しい環境に進まれますが、どうか身のまわりに起こる理不尽でおかしいと思う出来事について、マスメディアの情報だけでなく自分で調べ上げて学ぶ事の大切さを知り、実行して欲しいと思います。皆さんは松浪中を卒業しますが、在学中は出来なかった友人たちとの交流を同窓会を通じて深めてくれたらと思います。

同窓会会計 松浪中学校教頭 中川美幸

令和5年4月1日付けで着任いたしました中川美幸と申します。

日頃より、同窓会の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。



「箸よく盤水を回す」ということわざがありますが、たらいの中の水を箸1本で回してもはじめは箸しか回りませんが、その箸を根気よく回し続けていくと、少しずつ周囲の水が回りはじめ、さらに回し続けると輪が広がり、最後には大きな渦となります。この大きな渦は、松浪中学校を学び舎とした64年にわたる同窓会の皆様が生懸命築き上げてきた歴史や伝統です。箸を抜くことで渦の勢いをとめることなく、この伝統を引き継ぎ、そして私たちの次の世代の方にも継承していきたいと思っております。

同窓会名誉会長 松浪中学校校長 工藤裕一郎

同窓会の皆様には、いつも温かく本校を見守っていただき、心より感謝申し上げます。本校を卒業された方々との交流を通していつも感じるのは、母校への愛情の深さと誇りです。おこがましい限りですが、私は教職員としてお世話になっている本校を、母校のひとつであると勝手に認識しております。皆さんとともに、本校の生徒の活躍や母校の発展等を共有しながら喜びを分かち合っていかれたら光栄です。



現在の浪中生は、人や社会に対して貢献したいと考えている頼もしい生徒ばかりです。それもきっと50年以上の歴史の中で脈々と受け継がれてきた浪中のDNAなのだと感じています。今後も皆様のお力をお借りしつつ、本校の伝統・文化の継承、発展に努めてまいります。

会計報告 2022.04~2023.05

収入の部		
前年度繰越金	1,081,118	
受取利子	13	
卒業生会費 157名×500円	78,500	
合計	1,159,631	

支出の部		
同窓会印鑑代	10,340	
同窓会だより印刷代(1400枚)	53,130	
振込手数料	1,540	
卒業式紙コピー代	50	
封筒代	220	
合計	65,280	

次年度へ繰越 1,094,351

いま学校は 予測困難な時代を生きる松浪中学生

生徒指導担当 大林 正歩

2021年度より学習指導要領が改訂され今を生きる子供たちには、学校で学んだことが「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生に活かしていくことが求められています。これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現できるようにという思いが込められています。

現在、松浪中の生徒数は、1年生4クラス、2年生5クラス、3年生5クラスの計476名となっています。学校目標である「ふれあい 思いやり 正しい行動」を意識しながら、学校生活を送っています。学校生活の大半を占める授業を大切に、主体的に係活動や委員会活動、行事に力を注いでいます。



授業で大切にされているものは、傾聴と伝える能力です。また、受動的に授業に参加するのではなく、主体的に授業に参加することを生徒と教師が共通認識しています。どの授業でも「個で考え、自分の考えを持つ。それをペアワークやグループワークを通じて共有し、他の意見を得た状況で、再度個で考え、知識や思考を深める。」このような形を基礎とし、日々生徒たちは成長を遂げています。

係活動では、集団生活を成り立たせるために、学期ごとに決められた係活動や、週ごとに担当

を決め、教室の環境整備やクラス運営を支える週番を元に主体的に責任を持って活動しています。

委員会では、生徒会本部役員を中心に学級委員、生活委員、厚生委員、美化委員、図書委員、放送委員が学校全体を考え、様々な取り組みがされています。生徒会本部役員は「心踊る暖かい学校」を目標に掲げ、各委員会と協力し、実現を目指しています。



生徒会による朝のあいさつ運動

行事では、体育大会や合唱大会、地区マップづくり、職場体験、ふれあい講座など、多くの活動で生徒の良さが存分に発揮されています。教師と生徒だけでなく、地域の方々の支えにより、生徒たちの笑顔溢れる活動となっています。

生徒たちは、コロナ禍の中で集団での活動を大きく制限され、中学生となっています。そのため、集団での活動で、自分がどのように関わったらいのかかわからない生徒もたくさんいます。しかし、そんな中でも教師や仲間たち、地域の人々、たくさんの協力者とともに、日々成長を遂げています。何ごとにも主体的に取り組み、自分たちの学校生活をより良くしていこうとする力が今の松浪中生にはあります。これから社会に出ても、本校で身につけた力を存分に発揮し、輝き、活躍してくれると信じています。